

# 東大野球部



11月26日

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日の早稲田戦では、1回戦に相手投手陣から13安打を浴びせ、2回戦ではチーム3本目となる本塁打が出るなど好材料も見受けられましたが、力及ばず、敗戦を喫しました。今季のリーグ戦の課題の1つでもある守備をもう一度見つめ直し、今週末の立教戦に向けてチーム一丸となって臨んでまいります。

今後とも、東大野球部をよろしくお願い致します。

## 今後の日程

〈平成26年度秋季リーグ戦〉

10月11日 明大11:00 法大 東大13:30 立大

12日 立大11:00 東大 法大13:30 明大

18日 慶大11:00 明大 早大13:30 立大

19日 立大11:00 早大 明大13:30 慶大



## 4年生特集②

〜思い出に残っているシーン〜

4年生特集第2回目の今回は、「4年生特集②」思い出に残っているシーン」と題し、4年生の選手7人に、今までの野球人生で一番思い出に残っている場面を振り返ってもらいました！

### 石上 翔太（4年・投手・栄光学園）

僕の野球人生で思い出に残っているシーンは、大学4年春の法政大学戦で、スクイズをグラブトスで刺したシーンです。あまり得意ではなかったフィールディングを大学でしっかり練習した成果が出たと思った瞬間でした。



### 毛利 拓樹（4年・投手・横浜翠嵐）

今までの野球人生で思い出に残っている試合として、2年前の春の明治大学戦があります。それまでリーグ戦登板が無かった自分の初登板がいきなりノーアウト満塁という場面でした。かなり緊張したのをおぼえています。結果は三振2つとセンターフライで、無失点で切り抜けることができました。



### 中田 悠介（4年・投手・芝）

自分が思い出に残っているのは、大学2年春の学習院大学戦です。人工芝が新しくなって最初の東大球場での試合で、完封勝利をすることができ、自信



を持つことができました。この試合で完封出来たので、リーグ戦には自分のピッチングをすれば大丈夫という気持ちで臨むことができました。



**北村 康（4年・捕手・筑波大駒場）**

野球人生で思い出に残っているのは、高1の夏の大会最終戦です。僕は、先輩捕手の怪我によりスタメン出場していませんでした。しかし、まだ1年の自分は被盜塁記録の13盗塁を許す散々な結果でした。力が及ばなかった、先輩の夏を終わらせてしまった思いつから、高校3年間で1番涙を流しました。この悔しさは今でも忘れられません。



**末定 拓時（4年・捕手・東大寺学園）**

東大野球部の思い出を語る上で欠かせないことは福岡合宿です。自分たちが1年の時に始まってから、毎年のように福岡に行っていますが、その全てに参加しているのは自分を含め数人しかいません。地元よりも福岡で過ごした日数の方が多いくらいです。つらいこともありましたが福岡での練習が今の自分の野球を形作っています。



**高橋 壮（4年・内野手・私立武蔵）**

僕の忘れられないシーンは何と言ってもリーグ戦に初めて出た時です。4年春まで出場できてなかった分、出場時の感動は相当なものでありました。神宮でプレーが出来るのも、残りわずかとなってしまいました。これからもこの感動を忘れずにプレーしていきたいと思っています。

## 松田 翔(4年・外野手・湘南)

1 番印象に残っている試合は中3の夏の関東大会の2回戦です。僕たちの市から関東大会まで進むのは史上初の快挙の中、初戦を10対1で圧勝し、2回戦も初回到1死2塁から3番がノーサインで送り、監督に怒られている間に4番が先制タイムリーを打ちました。こういう試合は絶対勝てると思いましたが、先発した2番手投手が乱調して結果としては1対4で負けてしまいました。全国大会に行けると思っていたので、あまりの悔しさに忘れられません。



## 編集後記

今回の特集はいかがでしたか。

それぞれ一番印象に残っているシーンは違いますが、個人個人がその試合で得た達成感・自信・感動・悔しさなど、様々な思いを胸に秘め、神宮の舞台に立っています。

秋季リーグ戦も早くも残り2カードとなりましたが、リーグ戦での勝利を達成せずに今季を終えるわけにはいきません。部員一同、一丸となって戦って参ります。

今後とも東大野球部をどうぞよろしくお願い致します！

## お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮

TEL&FAX 03(3811)5100

メールアドレス office@tokyo-bc.ne.jp

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

